



議会だより

今回の定例会 3月 6月 9月 12月



受け継ぐ伝統文化
大森鳥見神社の祭礼

いんざい
議会だより

目次

- P2～ 9月定例会
補正予算の審査
予算審査常任委員会
- P4～ 決算主要事業・
決算の審査
決算審査特別委員会
- P6～ 一般質問
会派代表質問5人
個人質問15人
- P19 陳情
- P20～ 各常任委員会の審査
文教福祉常任委員会
建設経済常任委員会
- P22 議案と審議結果一覧
- P23 議会トピックス
正副議長の動向
編集後記
- P24 市民の声
次回定例会のお知らせ

9月
定例会

9月定例会は、9月1日から9月29日までの29日間、開催されました。

市長提出案件は議案8件、認定6件、報告5件、同意2件、諮問1件で、委員会提出案件は発委案1件、それぞれ慎重な審議が行われました。

審議結果は、22ページに掲載しています。

令和5年度補正予算

予算審査
常任委員会

■一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の補正

補正前の額	502億5,563万1千円
補正額	4億6,298万3千円
補正後の額	507億1,861万4千円

■介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の補正

補正前の額	62億6,027万3千円
補正額	2億3,569万6千円
補正後の額	64億9,596万9千円

9月19日に委員10人出席のもと審査を行い、すべて原案のとおり可決しました。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

市民サービス向上のためのフロア再配置



フロア再配置予定の印西市役所

問 市民サービス向上のためのフロアの再配置に関わる経費について、印西市役所自体を新しくどこかに移転する、または隣に附属棟を造る等の議論がなかったか。

答 迅速かつ有効にできる手段として本庁支所を活用した分散配置の判断に至った。今後十分に検討を進めながら、まずできることを実施していく。

問 公共交通事業者燃料価格高騰対策支援金の支給対象となるバス事業者、またタクシー事業者に対して、

どのように支援するのか。

答 バス事業者には1台当たり15万円、タクシー事業者には1台当たり2万円を保有台数により支給する。

問 市税が年度途中で10億円、15億円と、どんどん追加になっている。財政課ではどういう協議をしているのか。

答 例年、何億円という補正をしていると十分わかった上で、令和5年度は補正額を少なくするために、見込んで当初予算を計上した。しかし固定資産税については、相手方が修正申告等をした場合は、それに伴って税額にも増減があるので、結果としてこうなったものと捉えている。

問 鉄道整備等促進事業の165万円とは何か。

答 北総線沿線のさらなるPRと活性化を図り、運賃値下げの効果を高める継続的な取り組みとして、広告ジャケットレインの運行を実施するに当たり、車内広告掲出のための負担金として増額補正するものである。

問 交通安全対策施設整備事業の6300万円について問う。

答 道路延長で約20キロメートルについて、道路区画線の補修を実施するものである。補修箇所は、主に幹

線道路や通学路を中心に予定し、補修内容は、外側線、中央線の白線、車線境界線、交差点付近のゼブラ帯等である。

問 デジタル基盤改革支援補助金3485万円はガバメントクラウドへの早期移行の経費と承知しているが、内容について問う。

答 政府が契約するデータセンターを利用するもので、地方公共団体も利用を負担することとなっている。令和5年度にデジタル庁が実施する移行団体検証事業は、データセンターの利用料をデジタル庁が負担することとなっていることから、ガバメントクラウドの構成の検証を目的に、事業に応募したものである。



北総線沿線の活性化はなるか

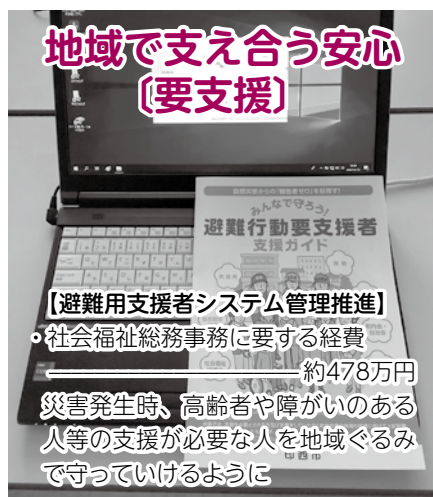


令和4年度 決算 主要事業

こんな事業を実施しました

令和4年度一般会計・特別会計・企業会計合わせて6会計について、決算審査特別委員会は9月12日から15日までの4日間にわたり審査を実施しました。

審査の結果、すべての決算を認定すべきものと決定しました。その質疑の主なものを要約して掲載します。



一般会計

進む電子行政

問 職員用タブレット端末260台を貸与した電子行政推進に要する経費約1894万円の成果はあるか。

答 庁内での会議、打ち合わせ、ウェブ会議等で活用しペーパーレス化に貢献している。

町内会・自治会との連携を

問 町内会・自治会への行政協力交付金の内訳は。

答 市の関係各機関から市民への通知、物品、資料等の配布や回覧を行う自治会に配布するものであり、188団体、2万7597世帯で、一世帯あたり400円を交付した。

地域で守る要支援者

問 避難行動要支援者個別計画の現状はどうなっているか。

答 令和5年8月31日現在で対象者8557人、同意者2533人、個別計画の作成者数は157人である。主に町内会、自治会が支援者の中心になるが、丁寧に説明を続け個別計画の作成者を増やして

いくしかないと考えている。保育園A1マッチングシステムのの実証

問 導入によってどのような効果があつたか。

答 入園判定に要する時間が4月入園ではこれまでの10時間程度から4時間程度に、毎月の判定も2時間半程度から30分程度へと大幅に短縮した。また正確性も向上している。

第3子以降の給食費が無償に

問 学校給食事務費が約2599万円と当初予算額から大

進む業務の効率化



これからも市民の安心のあしに



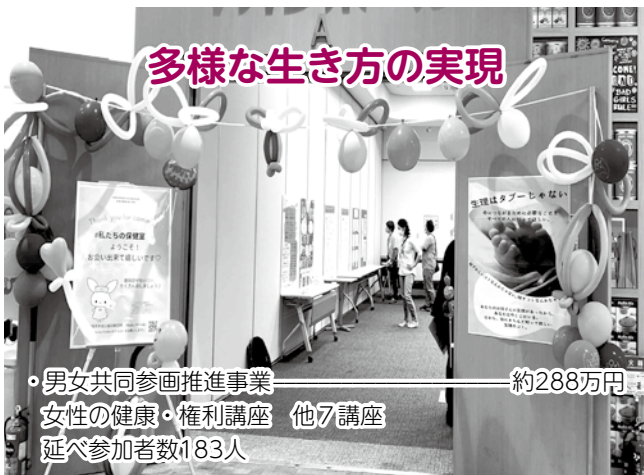
- ・路線バス運行対策費補助金 約4,704万円
- ・公共交通事業者燃料価格高騰対策支援金 約851万円

市民の憩いの場 快適な公園に



- ・公園緑地維持管理事業 約7億912万円
- 115公園、2緑地の遊具等の点検を実施
- 公園施設長寿命化計画に基づく改修を5件実施
- 園路灯等の修繕109件、フェンス等の工事23件を実施

多様な生き方の実現



- ・男女共同参画推進事業 約288万円
- 女性の健康・権利講座 他7講座
- 延べ参加者数183人

小中学校特別支援教室へ エアコン設置進む



- ・原山中学校改修工事 約5億9,950万円
- (特別教室7教室分含む)

印西市の魅力発信



- ・ふるさと寄附金 令和4年度 約4,821万円
- 令和3年度 約1,833万円
- 令和2年度 約5,633万円

大きな増額となった理由はなにか。

【答】 令和4年度の2学期から実施した第3子以降の学校給食費無償化の補助金によるものである。

ふるさと寄附金による市民税控除額は約4億円

【問】 市へのふるさと寄附金は約4473万円（ウクライナ特別支援分を除く）であるが、市民が他自治体へ寄附したことによる市民税控除額はどのくらいか。

【答】 約3億8500万円である。

良好な道路インフラの整備

【問】 道路路肩の除草や街路樹の管理はどのようにしたか。

【答】 草刈業務委託の決算額は約9302万円で、年に2から3回実施した。街路樹管理業務委託の決算額は約2億235万円で、樹木の種類に合った適切な頻度で剪定を実施した。

歳出不用額を有効に

【問】 不用額が100万円以上の事業が多くあるが、別の事業へ増額可能ではないのか。

【答】 年度末まで事業が未完了、支出額が未確定の場合は難しい。必要な予算については補正予算を計上している。

水道事業会計

水道の安定供給のために

【問】 市営水道の給水人口および普及率は伸びているか。

【答】 令和4年度の給水人口は1万8057人、目標値71%に対して約74%の普及率である。



我が市政を問う



◆ 一般質問 ◆

令和5年第3回定例会では、9月4日から9月11日に会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- 1. 至 誠 (中澤 俊介) P.7
- 2. 創 進 (櫻井 正夫) P.8
- 3. 新 政 (軍司 俊紀) P.9
- 4. TO BE (稲葉 健) P.10
- 5. 公明党 (藤江 研一) P.11

個人質問

- 1. 林 勝利 P.12
- 2. 小川 利彦 P.12
- 3. 松本 有利子 P.13
- 4. 山田 喜代子 P.13
- 5. 加藤 亮二 P.14
- 6. 近藤 瑞枝 P.14
- 7. 金丸 和史 P.15
- 8. 松尾 榮子 P.15
- 9. 野崎 崇正 P.16
- 10. 板橋 睦 P.16
- 11. 増田 葉子 P.17
- 12. 鈴木 博美 P.17
- 13. 大野 忠寄 P.18
- 14. 岩崎 成子 P.18
- 15. 都築 真理子 P.19



録画中継はこちらから



いんざい議会だより

令和5年(2023年)11月 No.206

問 デジタル地域通貨で更なる活性化



答 引き続き調査研究をしたい

「至誠」 中澤俊介 議員

会派代表質問

質問 デジタル地域通貨の基本的機能は、地域内のお金をその地域内で循環させる仕組みといわれるが、本市での導入はどうか伺う。

市長 デジタル地域通貨については、地域経済の活性化という側面だけではなく、地域内の人と人との交流を促進し、良好な地域コミュニティの形成や活気のある街づくりに寄与するものと認識している。一方で自治体にも導入や運営にかかる経費や労力など相応の負担があるので、引き続き先進自治体の取り組み状



「PayPayポイントが最大20%還元」をPRするのぼり旗

況について調査・研究をしていきたいと考えている。

再質問 デジタル地域通貨を導入した場合、これまで市が行ってきた紙媒体によるものと比較し、メリットやデメリットなどは。

環境経済部長 印刷代や換金等の事務的経費が抑えられ、準備期間や業務負担の軽減などがメリットとして考えられる。デメリットは高齢者等デジタル分野に苦手意識を持たれている方が恩恵を受けづらいこと、システム構築等の初期的経費や安定した管理・運

営体制づくりがあげられる。

再質問 pay payでの伊西市キャッシュレス決済ポイント還元事業の現在の状況は。

答弁 9月1日より市内中小規模の事業者を対象とした第1弾キャンペーンを実施している。9月2日時点で対象店舗数は550店舗、キャッシュレス決済額が2119万3287円、還元予定額は329万1796円。

再質問 予算が枯渇し早期終了が懸念される。物価高騰対策ならば、予定どおり9月30日まで続ける考えは。

答弁 事業の実施状況を見て判断したい。

再質問 今後、物価高騰支援や消費喚起策として紙媒体でプレミアム商品券を販売するのならば、デジタル地域通貨を早急に検討してはどうか。

答弁 デジタル地域通貨導入の効果やメリット、デメリットなど導入実績のある先進自治体の情報収集も行い、引き続き調査・研究を行いたい。

問 畑や水田等農地に支援対策を

答 農業者に相談や技術指導を行う

「創進」 櫻井正夫 議員



荒れた田

質問1 現在、耕作されている畑と耕作されていない畑の割合を伺う。

農業委員会事務局長 市内の畑の面積が1382ヘクタールとなっており、そのうち耕作されている畑が997ヘクタール、耕作されていない畑が385ヘクタールである。

質問2 耕作されておらず、雑草の茂った畑を市で調査し、荒れた畑の地主に指示・指摘をされたか伺う。

環境経済部長 農地法により、農業委員会が毎年1回、市内にある農地の利用状況について調査を行っていて、管理状況が悪い農地を確認した場合は所有者に対し適正に管理されるよう通知している。

質問3 草深の原地区では、農業用地の何%が住宅用地になったか伺う。

農業委員会事務局長 草深の原地区における農地から住宅用地への転用面積は約16万8千㎡で農地全体の約32%が住宅用地へ転用している。

質問4 畑の耕作放棄は全体の何割か伺う。

農業委員会事務局長 耕作放棄になっている遊休農地の割合は、市内畑地面積の約14%である。

質問5 電気柵について、今は主に田に広く取り付けられている。今後は畑に補助金を考えているか伺う。

環境経済部長 市では、補助対策要件を満たす畑を含めた

農地に設置する電気柵は、イノシン被害防止用電気柵設置事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付している。

質問6 稲刈り、脱穀した後の稲わらの処理、もみ殻の処理等について伺う。

環境経済部長 稲わら・もみ殻同様に一般的に田畑のすき込み緩衝資材また、堆肥として活用されているものと考えらる。

質問7 稲わら・もみ殻が大量に出るが、その処理方法について、市の方で焼却処分は考えているか伺う。

環境経済部長 市では、稲わら等の焼却方法は考えていない。農家の方には有効利用を図っていただきたい。

問 安心して入院できる病床の確保を



答 病院数の改善に向け要望していく

「新政」 軍司俊紀 議員

会派代表質問

質問1 千葉県保健医療計画

と印西市について問う。千葉県保健医療計画は、次期計画に向けての改定作業を進めている。市は市民の安心を確保するために、県とどのような議論を行っているのか。医療圏について、どのように考えているのか。

市長 市が属する印旛二次保健医療圏は、県平均と比較して、病院数及び診療所数は若干少ないが病床数については県平均を超え、医療機関相互の機能分担に基づく連携による包括的な保健医療サービスを提供していくための適切な圏域であると考える。

再質問 市民の医療についてどのように考えるか。

健康子ども部長 地域医療連携システムの効率的な運用を支援し、市民の現状を把握して県へと伝え、医療の一層の充実につなげたい。

再質問 地域医療構想調整会議が開催されているが、市はどのような意見を県に伝えているのか。

市長 次期千葉県保健医療計画に反映していけるよう、対策を講ずべき疾患等への対応

についての意見や需要の多い小児及び周産期医療体制の整備について現状を伝えている。
再質問 市民から入院できる病院の要望があるが、市はどう考えるか。

健康子ども部長 意見があることは認識をしている。市では病院数の改善に向け、機会をみて、県へ要望をしていく。

質問2 市における教育委員会の役割について問う。教育委員会は原小学校をどのような学校にしたいのか。

教育長 保護者の皆様から出された意見に対し、心配を払拭できるよう最善を尽くして教育環境や条件を整備していきたいと考えている。

再質問 原小学校について、教育委員会は適正規模にしたいのか、大規模校のままでよいのか。第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針（素案）の実施方針に記載がされていないが。

教育部長 基本方針の中に記載すべきか再度検討中である。



市民の救急搬送先の1位は日本医科大学千葉北総病院

問 カarbonニュートラル宣言計画は

答 令和6年6月議会定例会にて行う

「TOBE」稲葉健議員



カーボンニュートラルのイメージ

質問1 カarbonニュートラル宣言に向けた市の今後の計画について伺う。

市長 2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、令和5年8月1日に私が本部長を務める「印西市カーボンニュートラル推進本部」を立ち上げ、8月18日に第1回推進本部会議を開催した。私としては、毎年6月が環境月間であることから、ゼロカーボンシティ宣言を令和6年6月議会定例会の初日に行いたいと考えている。具体的な行動計画に位置付ける、戦略の策定に向け進めていく。

再質問 新たな取り組みはあるのか。

答弁 第1回推進本部会議に

において「いんざいカーボンニュートラルチャレンジ2050策定基本方針」を決定した。今後、この基本方針を踏まえ、戦略の策定に向け進めていくことになるが、全庁的な策定体制を構築し、戦略策定の中で実効的かつ効果的な取り組みを検討していく。

質問2 千葉県は6月に、対話型人工知能「チャットGPT」などの、文章や画像を出力する「生成AI」について、全庁の業務で試験的に利用すると発表した。当面は内部資料の作成などに限り、県デジタル推進課がまとめたガイドラインに沿って利用するという市の取り組みについて伺う。

市長 生成AIの活用に関する取り組みについては、令和5年7月13日に開催したDX推進本部会議において、市としての生成AI利用ガイドラインが承認され、これに沿って利活用を図ることとした。

再質問 市として生成AIの将来的な活用案は。

総務部長 生成AIの特徴でもある大量の文書からの要約作成や与えられたキーワードからの文書作成といった機能を活用したシステム等の導入の検討を考えている。

問 医療用ウィッグ等の購入費助成は



答 県の補助事業検討を注視する

「公明党」 藤江研一 議員

会派代表質問

質問1 市川市では令和5年度から医療用ウィッグや胸部補正具の購入費助成を実施。本市でも支援できないか。

市長 これらはがん患者の苦痛を軽減し、社会生活を支援するために必要と認識しており、県で補助事業を検討しており、県の動向を注視したい。

質問2 ふれあいバスのルート見直しについて、素案策定の進捗状況は。

企画財政部長 令和5年8月にルート再編支援業務の業者選定を行った。今後バスの路線網や運行実績等の実態調



がん治療による外見の変化に悩む患者を支援するために

査を行い、5年度末を目途に素案を策定していく。

再質問 鎌苅、師戸地区が新設ルートから外されないか。

答弁 鎌苅、師戸地区をはじめ、各地区における新設ルート設置に関しては、今後の協議の中で決定する。

質問3 学校図書館充実に関し、読書の必要性の授業、魅力ある本の提供、更新は。

教育長 学校司書の活用などを通し読書活動の充実を図る。

再質問 本市の学校規模に応じた蔵書数の目安「学校図書館図書標準」の達成は。

答弁 現在27校中18校が蔵書率100%を達成。学級数増加に伴い蔵書率が一時的に低下している学校もあるが、取り組みを継続し、蔵書率の平準化を図っていく。

再質問 学校図書館の予算配備が後回しにされていないか。

答弁 小中学校の蔵書率が100%になるよう努めていく。

質問4 原小学校の児童数増加への対応について、アンケート調査に回答していない保護者が多数おられるが、この世帯の方々への他校への就学希望、スクールバス利用意向は把握しないのか。

教育部長 令和5年10月30日を期限に正式な申請を受け付けている。スクールバスの利用希望も調査する。

再質問 学区外就学を希望しない世帯の児童をすべて原小学校に受け入れられるか。

答弁 受け入れることができよう、校舎を増築する。

問 市長の退職金について

答 条例により適正に処理されている

林勝利 議員



質問1 選挙によって選ばれた特別職公務員である市長と市議会議員。市議会議員には退職金がなく市長には退職金が支払われる制度についてどのように考えているか。

総務部長 退職手当は地方自治法及び市町村職員退職手当条例に基づき支給されるもので、これらの規定に基づき適正に処理されていると認識している。

再質問 退職金を辞退・返納している政治家もいる。市長はどのように考えるか。

答弁 全国では、一部の首長が退職手当を辞退していることは把握している。本市では法律、条例に基づき適正に処理されていると認識している。

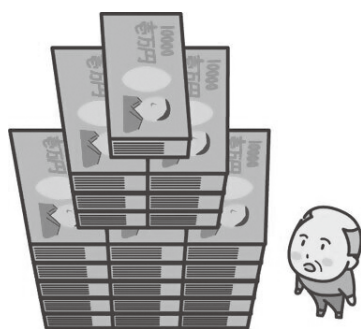
質問2 給食費の無償化について。学校給食は生きた教材である。国では義務教育諸学校の教科書を国が発行者から

直接購入し無償で給与することにより、保護者の経済的負担の軽減等を図っている。賄材料費も無償でよいのでは。

教育部長 生きた教材として承知しているが給食の賄材料費は学校給食費として保護者に負担いただくべきと考えている。

再質問 生きた教材という認識があるのならば、完全無償化を検討してみては。

答弁 全ての児童及び生徒を対象とした学校給食費の無償化を検討する考えは現在のところない。



市長の退職金

問 本埜公民館改修工事中の避難所は

答 本埜小学校を避難所で開設する

小川利彦 議員



質問1 避難所での要支援者の個々の対応策は。

福祉部長 要配慮者のための生活必需品調達や福祉避難所等に関する情報提供など、必要に応じた対応をする。

再質問 避難所をホテル等の宿泊施設との協定の考えは。

総務部長 災害時にホテルを福祉避難所として使用する協定を「アパホテル千葉印西牧の原駅前」と締結している。

質問2 選挙での投票所までの距離について。

選挙管理委員会事務局長 投票所までの距離が3キロメートル以上ある遠距離地区の解消に努めること。また、投票所までの距離が2キロメートル以上あり、かつ1投票区の選挙人の数が2千人を超える投票区については、再検討が行い、投票所増設に努めることが示されている。

再質問 期日前移動投票所を実施すべきと思うが見解を伺う。

答弁 移動投票所などの対策が必要と判断した場合には、支援策を検討する。

投票へ行きましょう！



質問3 千葉県誕生150周年記念事業補助金の活用は。

市長 令和5年6月から6年6月まで「千葉県誕生から150年を振り返り、続いていく未来に思いを馳せる」をテーマに県内各地で記念事業を実施。本市は「印西まちなか音楽祭」や「ほくそう春まつり2024」を実施予定だ。

問 人中心のまちづくり検討チームを

答 必要に応じて設置検討する

松本有利子議員



質問1 車中心からひと中心のまちづくりへの転換を図る、まちなかウォーカブル推進都市についての考えは。

都市建設部長 居心地が良く歩きたくなる、まちなかづくりを推進する事業と認識しているが、実施していない。

再質問 国で352自治体がまちなかウォーカブル推進都市であるが賛同する考えは。

答弁 情報収集していく。

再質問 市内の駅周辺を滞在快適性等向上区域の設定や、ほこみち制度を活用し、歩行空間やにぎわいの創出などを検討していく、関係各課で構成したまちづくりプロジェクトチームを設置できないか。

答弁 新たな施策等の検討を進めていく上で必要に応じて設置検討していく。

質問2 利便性の高い公共交通の構築について伺う。

企画財政部長 ふれあいバスの運行やデマンド交通などさまざまな交通サービスを組み合わせ利便性の高い交通手段としてのネットワークの構築が重要だ。

再質問 本当に誰もが便利で気軽に移動できるまちを実現するため、公共交通網の大きな見直しを視野に入れ、LINE予約などICTの活用や、数百の停留所の設置などを取り入れたデマンド交通の活用を再度検討できないか。

答弁 先進自治体の事例等も含め調査・研究していく。



ウォーカブル推進都市
(国土交通省HPより)

問 人間国宝香取正彦氏を名誉市民に

答 慎重に検討していく

山田喜代子議員



質問1 市の文化歴史に残る偉大な先達の香取秀真・正彦親子を紹介し市民に知らせることが大事ではないか。

総務部長 社会文化に功績がある。慎重に検討していく。

質問2 非核平和都市を宣言した市として平和条例の制定をする考えはないか。

総務部長 市として何をするのか、何ができるのかを調査・研究する。



印西平和の鐘

質問3 1年毎に契約更新する会計年度任用職員等非正規職員は女性が大多数を占め、国家資格を持ちながら低賃金、

不安定雇用だ。正規雇用とすべきでは。

総務部長 報酬額の引き上げの他、任期付職員の給料月額を引き上げ改訂の調整をしているところだ。

質問4 市内3カ所で実施の学習支援事業では希望どおり高校に入学できた等の報告がある。より通いやすい場の確保と事業の周知をできないか。

市長 市ホームページで周知している。利用者の定着が図れるよう努める。

質問5 健康保険証の存続とマイナンバーカードへの一本化への中止を求める。全国保険医団体連合会がアンケートを実施。医療現場でトラブルが発生している。現場を調べる考えは。

市民部長 これまで同様に適切な保険医療が受けられるよう今後国の動向を注視する。

問 危機管理体制の強化について問う

答 有事を想定した訓練等を検討する



加藤亮二議員

質問1 印西市業務継続計画の策定状況と具体的な取り組み状況について伺う。

総務部長 国の手引きの最新改定内容を踏まえ計画を策定しているところである。

再質問 より実効性のある計画にするための取り組み、効果や課題、改善点などを伺う。

答弁 定期的な業務確認と庁内各課への周知徹底、非常時優先業務を定期的に再確認し、修正が必要な場合は計画に反映しているところである。

再質問 印西市の危機管理体制は計画的には整っているが、その実効性に疑問があると評価している。緊急時には市民の命に関わる大事な役割を担うため、有事を想定したシミュレーションと検証を実行する考え、第三者機関を緊急対策室に設置する考えは。

答弁 第三者機関の設置は考

えていないが、有事を想定したシミュレーションは防災総合訓練などで実施する計画を検討していく考えである。

質問2 コロナ禍の経験からの学びを今後活かしていくために、市民への行動指針やパンデミック対応ガイドラインの作成をどのように検討しているのか伺う。

健康福祉部長 印西市新型コロナウイルス感染症等対策行動計画および、対応マニュアルにてインフルエンザ等の感染対策について定めており、この中での見直しは必要だと考える。



有事の準備、シミュレーション

問 民間バス利用の高齢者に回数券を

答 先進事例を参考に調査研究する



近藤瑞枝議員

質問1 70歳以上を対象に交付した、ふれあいバス無料乗車カード「フレアイカ」の利用状況はどうか。

市長 令和2年7月から令和5年7月末時点で、5394枚が発行済みである。

再質問 年々増加している利用実績の推移を問う。

福祉部長 令和2年度は9カ月間で4万6630人、3年度は7万6562人、4年度は9万1553人、5年度は4カ月間で3万4269人である。

再質問 ふれあいバスの通らない地域の住民はフレアイカを使用できないため、不公平感を持つ高齢者も多い。市民サービスはできる限り公平平等でなければならぬ。民間バスを利用する70歳以上の高齢者も、同様のサービスを受けられるべきではないか。

答弁 運転手の負担増につながる可能性があるため、導入は難しい。

再質問 現金で支払う場合、硬貨のうちの数枚が回数券に置き換えられることが運転手の負担増になるとは考えられない。また回数券配布によって乗車客が増えれば、バス会社の収益増につながる。デメリットをカバーするメリットを提示したうえで、会社側が判断することなのではないか。

答弁 課題等について先進事例を参考にするなど調査・研究していきたい。



高齢者ふれあいバス無料乗車カード FUREICA (フレアイカ)

問 小中学校での働き方改革は

答 子どもと向き合うための改革に

金丸和史 議員



質問1 市教育委員会における「働き方改革」の基本的な考え方について伺う。

教育長 教職員の心身の負担増加や教職員への魅力の低下等の課題を解決するためにも推進していかなければならないと考えている。

質問2 道德教育の充実について伺う。

教育長 道德教育実践研修や各学校での授業研究での指導助言を通して、充実を図っており、令和5年度からはICTを活用し、考えの共有や可視化が可能となり、より道德的価値に迫れる授業が行えるように支援している。

再質問 地域に関しての道德教育は行っているか。

答弁 印西市出身のシンガーソングライター大野靖之氏の楽曲や小中学校に学校図書の実践のため寄付をいただいた

宮下豊氏を題材に自分の生き方について考える授業を実践する学校もある。



ICT活用による働き方改革

質問3 国・県において定義づけが定かではない「ギフテッド教育」について伺う。

教育長 特異な才能のある児童生徒も含め個別最適な学びを通じて資質・能力の伸長を図っている。

なお、各学校において特異な才能のある児童生徒の困難な状況を把握した場合、環境や条件に応じて、児童生徒に適した対応を柔軟に講じている。

問 市の歴史文化資源の保護と活用は

答 歴史文化施設の検討を進める

松尾榮子 議員



質問 現在、基本計画策定中の（仮称）印西市歴史文化施設の概要について伺う。

教育部長 市の宝である歴史文化を守り、未来に継承し、市の魅力を市内外へ広く発信していく施設を検討している。令和5年度末までに基本計画を策定予定である。

再質問 木下交流の杜歴史資料センター、印旛歴史民俗資料館、資料整理作業所、医科器械資料館の歴史文化資料を集約して、新規に博物館的な施設を建設するのかが。

答弁 そのような施設を現在検討しているところである。

再質問 印旛歴史民俗資料館では江戸時代からの農機具や農家の暮らしに関わる多くの資料を保管し展示。一方、旧印西市においても同様の農業系資料が大森歴史資料保管庫に保管されている。新たな歴

史文化施設で、木下貝層や水辺の水運と商業・農業の発展、千葉ニュータウンの成立等、市の歴史を総合的に展示すると共に、こうした農業系の民俗資料を、次期中間処理施設整備事業と合わせ地域振興策を検討している吉田地区の振興施設等に展示し、訪れる市民や子どもたちに農業地域の暮らしを体感してもらおう試みを検討する考えはないか。

答弁 次期中間処理施設整備事業において、印西地区環境整備事業組合より展示等の話があれば前向きに検討したい。



印旛歴史民俗資料館の歴史資料

問 駅周辺は交流やにぎわいの拠点に

答 都市計画で立地誘導を図りたい

野崎崇正 議員



質問 印西牧の原駅南側には

新たに中古車販売店が建設される予定だが、これは、印西市都市マスタープランで都市づくりの課題として挙げられている「利便性やにぎわいの向上に資する商業・業務施設の適正な配置」と言えるか。

都市建設部長 印西牧の原駅

南側の土地は、都市計画の用途地域を「近隣商業地域」と定め、さらに、地区計画によって建築物の制限を行っている。民間の土地所有者が一定の制限の範囲内で土地の活用を検討され、立地を計画されたものと認識している。

再質問 イオン千葉ニュータ

ウン店駐車場に、BIGHOP ガーデンモール印西と同様に、データセンターが建設されてしまうのではないかと懸念の声もある。駅前やその周辺の土地は、市民同士の

交流やにぎわいの拠点になる

ような商業・業務施設の誘致を進めるべきではないか。

答弁 現行の制度の範囲内で

建築可能な施設を制限することとは難しい。

再質問 都市計画制度による

規制以外の方法も含め、市役所全体で、全庁的に施策の検討を行うべきではないか。

答弁 現状は、用途地域や地

区計画で定めた建築物等の制限により都市環境の形成を図っており、引き続き利便性向上のため商業・業務施設の立地誘導を図っていきたい。



印西牧の原駅周辺の航空写真
(千葉県企業局提供)

問 猛暑日対策のエアコン設置は

答 基本設計の業務委託を発注した

板橋睦 議員



質問 猛暑での夏休み中の部

活動について配慮は。

教育長 各小中学校において

は印西市立小中学校版熱中症対策ガイドラインに基づき、熱中症事故や対策に努めている。

再質問 体育の授業の熱中症

対策は具体的にはどのように行っているのか。

答弁 熱中症予防としては授

業前後の健康チェックを確実にを行い、20分活動したら水分補給させたり、天候によっては涼しい場所での活動を行ったりしている。

再質問 エアコン未設置の教

室等はいくつあるのか。

答弁 小中学校合わせて、配

膳室18校、特別教室は24校で、約230教室、体育館は27校で未整備である。学校の空調設備の設置については、本年度、配膳室、特別教室及び体

育館の空調設備の整備に向けた基本設計の業務委託を発注している。この基本設計で、

各学校の状況など調査したうえで、空調熱源の方式や国庫補助金の交付条件に合う断熱改修など整備手法を検討して、整備を進めていきたい。

再質問 いつから工事が始ま

るのか。

答弁 空調設備の実設計は、

基本設計をもとに令和6年度から順次行っていきたいと考えている。工事については、令和7年度から着手していく予定だ。



猛暑日の体育館
精神論では乗り越えられない

問 福祉タクシーの拡充はいつになるか

答 拡充の予定はない

増田葉子議員



質問 災害級の猛暑で高齢者の移動が大きく制限されている。これからも今年のような猛暑が繰り返されると予想される。平成30年度に福祉タクシーの助成対象が要介護3から要介護1まで拡大されたが、要支援認定者が対象になるのはいつか。

福祉部長 福祉タクシーは、日常生活に困難を抱え、電車やバス等の公共交通機関での移動が難しい方の利用を想定しており、見直す予定はない。

再質問 対象を拡大したとき、一年度あたりの交付枚数が50枚から30枚になった。当時、「実績を見て見直していく」と答弁している。対象拡大から丸5年だ。見直しが必要な時期ではないか。実績はきちんと見てきているのか。

答弁 コロナ禍の期間を除けば、登録者数、利用回数とも

年々増加している。

再質問 コロナ禍でも、実績は大きく減っていない。本当に必要があつて利用されている。近隣でも、交通政策と連携して年齢と免許返納だけを要件としているところは、我孫子市、野田市、八千代市、成田市、香取市等たくさんある。災害級猛暑のなか、買物にタクシーを使いたい、使わざるを得ないというのは、賢沢でもわがままでもない。時代に合わせた検討はできないものか。

答弁 見直す考えはない。



高齢者の移動に欠かせない
タクシー

問 带状疱疹ワクチンの接種費助成は

答 任意接種状況等把握し現在検討中

鈴木博美議員



質問1 带状疱疹の罹患実態と後遺症発症の把握、また、ワクチン接種の動向は。

健康子ども部長 患者数の集計はしていないが国保データベースより「傷病名」で確認し、被保険者数として493人。後遺症も同様に確認し、151人。ワクチン接種の動向は厚生科学審議会、予防接種・ワクチン分科会などの動向を注視していく。

再質問 带状疱疹ワクチン接種費用の公費助成制度導入は。

答弁 専門部会において医師の意見を勘案し、市内医療機関における带状疱疹ワクチン

の任意接種状況や、すでに実施している自治体の状況などを把握し、現在検討している。

質問2 自転車の安全走行とヘルメットの必要性を感じてもらおう啓発動画をホームページに載せられないか。

市民部長 自転車の安全な乗り方の動画を市ホームページに掲載し、周知していく。

再質問 市民の命を守るヘルメットの購入費助成は。

答弁 ヘルメットの着用普及は、交通安全上、極めて重要なことであると認識しているが、助成については、先進地の事例を参考に、調査・研究していく。

質問3 視覚障がい者支援ジャービスアプリ活用状況は。

福祉部長 NPO法人よりライセンスを無償貸与いただき、全庁に周知を図った。



ワクチン接種で健康・安心

問 安心安全な食の普及について

答 有機農業、有機食材普及に取り組む

大野忠寄 議員



質問 有機農家の現状認識は。

環境経済部長 有機農家は積極的に栽培技術や管理方法等を取り入れ進められている。

一方、大半の農家は慣行栽培で栽培技術の習得や栽培管理の手間等、有機農業への転換が進まない状況である。

再質問 有機農業の普及に向け栽培技術を伝える講習会開催の可能性について伺う。

答弁 持続的な農業推進に向け有機農業等、多様な栽培技術の普及を目指し、県やJA西印旛と連携し講習会開催に向け検討する。

再質問 有機農業の推進は。

答弁 第3次有機農業推進計画および環境負荷低減事業活動促進に関する基本的な計画により、県やJA西印旛と連携し有機農業推進に取り組む。

再質問 学校給食で有機野菜使用を進める可能性は。

教育部長 通常栽培野菜と品質・価格が同等なら有機野菜の使用も可能である。

再質問 発芽玄米入り米飯食の提供頻度と今後、回数を増やして行く考えはあるのか。

答弁 提供頻度は調理場所によって異なるが令和4年度実績は全く提供無し、または年1回程度提供している。提供回数を増やすことは価格面を考慮し今後、検討する。

再質問 個人農家が入札業者登録することが出来るのか。

答弁 要件を満たした個人農家は業者登録が可能である。



発芽玄米で子どもたちの健康回復・増進

問 繁茂する樹木等への対応は

答 事故防止のために剪定を実施する

岩崎成子 議員



質問1 樹木の繁茂で信号機が見えにくくなっている。事故防止等、安全対策への取り組みは。

都市建設部長 市道において街路樹の繁茂による場合は、剪定を実施している。

再質問 民地からの樹木の繁茂により、信号機が見えにくくなっている場合の対応は。

答弁 市から信号機の管理者である印西警察署に対応をお願いしている。



繁茂した樹木で見えにくくなっている信号機

質問2 台風・豪雨等の自然災害から市民を守る対策は。

市長 台風や豪雨については、

防災気象情報を入力することにより、ある程度は予測が可能であり、事前に対応等の準備ができる。市としては、正確な防災気象情報を早期に把握し、市民に対しては警戒レベルに応じた避難情報等を適時伝達し、避難をお願いしている。近年は災害級となる突発的な豪雨も全国各地で発生しているため、今後も市民の生命を守ることを最優先に、適切なタイミングでの避難所の開設、避難指示等の発令に努めていく。

質問3 带状疱疹ワクチン接種費用への公費助成は。

健康子ども部長 印西市母子保健予防接種専門部会において、医師の意見を勘案し、市内医療機関での任意接種状況や、すでに実施している自治体の状況などを把握し、現在検討しているところである。

令和5年第4回定例会で予定している一般質問は11月22日(水)以降、ホームページに掲載します。



問 デマンドタクシーの導入は

答 導入は難しいものと考える

都築真理子議員



質問 バスの運行ダイヤに不便を感じるといった声を聞いた事はあるか。

企画財政部長 個人または自治会等を通して新規ルートやバス停設置、運行遅延など、バス運行に関する意見や要望が寄せられている。

再質問 ふれあいバスやちばレインボーバスの運行状況、必要とする時間帯の把握はできているか。

答弁 基礎調査を実施し、運行経路や運行時刻などに関する状況把握に努めているところである。

再質問 増便など改善策の考えはあるか。

答弁 令和7年を目前に、ルート全体の再編に向け検討を進めているところである。

再質問 千葉ニュータウン地区にデマンドタクシーを取り入れる考えが市としてあるか。

答弁 分散している地域において一定の効果を得られるものと認識しているが、既存バス路線やタクシー業者との棲み分けが困難な状況である。

再質問 利用年齢を75歳以上とした場合の市の考えを伺う。

福祉部長 高齢者に対して移動支援を実施しているところである。

再質問 実証運行を千葉ニュータウン地区で行う考えはないか。

企画財政部長 デマンドタクシーの導入については難しいものと考えている。



デマンドタクシー

陳情

第5―5号

▼法令に基づく審議と市民の知る権利を保障する手立てを求める陳情書

〈議員配布〉

第5―6号

▼会計年度任用職員制度の運用改善に関する陳情

〈議員配布〉

第5―7号

▼航空機飛来と市民の安全・安心に関する陳情

〈議員配布〉



表紙の写真

大森鳥見神社の祭礼

10/8回

お雛子と共に神社神輿一基が大森の歴史あるまち並みを練り歩きました。

大森子供会の小学生4名が神子衣装をまとい『浦安の舞』を奉納。神秘的で素晴らしい舞の練習は、6月中旬より演技指導が始まり、多い時は週5日の練習をしたそうです。



写真提供：金子 純一さん（大森）

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

令和6年4月1日

高花学校給食センター新設

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

文教福祉常任委員会

【議案第3号】印西市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定。

【内容】同条例の表に印西市高花学校給食センターを追加。

問 工事はいつ終了し、いつから給食を提供できるか。

答 令和6年2月14日までに引き渡しを受けらる。給食は4月10日前後からのスタートを予定。それまでの間にプレ給食として実際に給食を作るなど準備を進める。

【議案第6号】工事請負契約の締結。

【内容】そうふけふれあいの里大規模改修工事。

問 クリオネクラブについて改修後改善点は

あるか。

答 窓ガラス、トイレ、床暖房の更新により改善される。

問 地域ふれあいサロンの使われ方、利用率、利用向上策は。

答 会議等ができる部屋として一般の方にも利用いただき、令和4年度は、4722人が利用。改修後に公共施設予約システムで予約できるよう変えていこうと考えている。

【議案第8号】工事請負契約の締結。

【内容】印西市立本埜公民館保全改修工事。

問 令和4年に水道水が飲料水として使えない時期があったが、改善されるのか。

答 公民館の屋根等の改修を行う中で受水槽の更新も行う。競争性、透明性の確保の観点から確認したいが、予定価格、調査基準価格、失格基準額は公開されているか。

答 予定価格は事前公表されている。調査基準価格と失格基準額は事前公表されていない。

問 次の大規模改修までのスパンはどれくらいか。

答 次の工事は20年後をめどに大規模改修となる。

【議案第3号】印西市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

【議案第6号】工事請負契約の締結(そうふけふれあいの里大規模改修工事)

【議案第8号】工事請負契約の締結(本埜公民館保全改修工事)



建設が進む高花学校給食センター

番号	件名	結果
議案第3号	印西市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	工事請負契約の締結(そうふけふれあいの里大規模改修工事)	可決
議案第8号	工事請負契約の締結(本埜公民館保全改修工事)	可決

文教福祉常任委員会の審査の様子はこちらから。



いんざい議会だより

令和5年(2023年)11月 No.206

歩行者専用道路で地域のにぎわい創出

【議案第1号 印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】地域のにぎわい創出のためのイベントによる利用など道路空間の活用への期待が高まっていることから、新たに歩行者利便増進道路の構造の技術的基準の規定を加えるほか、所要の改正を行う。

問 なぜ今、条例の改正をするのか。

答 イベント等での利活用の機運が高まっているというところを勘案した。

問 機運の高まりをどのように受け取ったのか。

答 牧の原での音楽祭、千葉ニュータウン中央でのイルミネーションが歩道の広いところでイベントとして開催されている状況によるも

の。

【議案第2号 印西市が管理する市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令及び印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部改正に伴い、所要の改正を行う。

問 これまで自転車歩行者専用道路等があったが、今回ここで条例に加える理由は。

答 今回の改正は、有効幅員、舗装、勾配の構造の規定を加えたもの。

問 第2条に旅客特定車両停留施設を使用した役割の提供の方法に関する基準を定める省令とあるが、バス

停との理解でいいのか。

答 バス等の事業者の専用停留施設のうち、旅客を対象とする特定車両停留施設の構造や設備にバリアフリーの基準を設けたものである。



イベント等で利用されている歩行者専用道路

番号	件名	結果
議案第1号	印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第2号	印西市が管理する市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第7号	印西市道路線の認定	可決



令和5年第3回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番号	件名
《議案》(市長提出議案)	
議案第1号	印西市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第2号	印西市が管理する市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第3号	印西市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第4号	令和5年度印西市一般会計補正予算(第4号)
議案第5号	令和5年度印西市介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第6号	工事請負契約の締結(そうふけふれあいの里大規模改修工事)
議案第7号	印西市道路線の認定
議案第8号	工事請負契約の締結(本埜公民館保全改修工事)
同意第1号	印西市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること(小畑 昌也 氏)
同意第2号	印西市教育委員会の委員の任命につき同意を求めること(豊田 光弘 氏)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること(押田 香代子 氏)
《議案》(委員会提出議案)	
発委案第1号	印西市議会基本条例制定特別委員会の設置について

番号	件名	議決結果	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	都築 真理子	野崎 崇正	林 勝利	藤江 研一	松本 有利子	稲葉 健	小川 利彦	櫻井 正夫	岩崎 成子	近藤 瑞枝	中澤 俊介	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田 喜代子	米井 重行	海老原作 一	
《議案》(市長提出議案)																									
認定第1号	令和4年度印西市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第2号	令和4年度印西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第3号	令和4年度印西市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第4号	令和4年度印西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第5号	令和4年度印西市水道事業会計決算認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
認定第6号	令和4年度印西市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-

※○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席、除=除斥(※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、- =その他 ※議長(海老原作一)は採決に加わりません。

請願・陳情の提出について
詳細はこちらから。





議会基本条例の 制定に向けて始動

議会基本条例は、議員自らが議員としての自覚と見識を持って、市民の負託に的確に応える決意を明らかにするため制定するものです。

令和5年第3回定例会(9月)において「印西市議会基本条例制定特別委員会」の設置議案が全会一致をもって可決され、9月29日に設置されました。

特別委員会の設置期間は、令和5年9月29日から印西市議会基本条例(案)を作成するまでとなっています。条例の制定に向けて調査・研究を行っていきます。

委員長	金丸和史	委員	中澤俊介
副委員長	大野忠寄	//	稲葉 健
委員	松尾榮子	//	藤江研一
//	増田葉子	//	加藤亮二

正副議長の 動向

我孫子市・印西市
まちづくり

連絡協議会総会

令和5年10月12日に我孫子市・印西市まちづくり連絡協議会の総会に出席しました。令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画(案)が承認可決され、その後の情報交換では、我孫子市の「公園坂通りの将来ビジョン」、印西市の「木下駅南口公共用地の活用について」が相互に発表されたほか、千葉県誕生150周年記念事業として11月1日より開始される我孫子市・柏市・印西市の3市周遊デジタルスタンプラリーの説明がありました。

これまでの両市のまちづくりの広域的取り組みは、ふれあいバス布佐ルート等の運行等8事業に及び、両市にとって重要な会議です。

会議の後、木下駅前には広い広場の視察となりました。



編集後記

議会の一般質問の他にも委員会があります。決算審査特別委員会、予算審議常任委員会、総務企画常任委員会、文教福祉常任委員会、建設経済常任委員会と自身が所属する委員会以外にも勉強のため傍聴ができ、それぞれの委員会は真剣にテーマと取り組み話し合いを進めています。

議会や委員会には、外から見ると内側から見るのでは、全く異なるものでした。

そのようなことを、この議会だけで発信していかれたらと思っております。

今後とも、我々議会だより編集委員会の作り上げる議会だよりにご期待ください。
(都築)

委員長 米井 重行
副委員長 松本有利子
委員 板橋 睦
櫻井 正夫
林 勝利
都築真理子
鈴木 博美

〃 〃 〃 〃

私たちが暮らしている印西市

印旛中学校

3年 小倉 幌平



私は印西市が市町村合併される前の印旛村から住んでいます。以前は空地になっていた所も現在では住宅が建ち並び、人口が11万人に達し、さらに人口は増えていくと思います。また、都心や国際空港が近いことと地盤が強いことなどから、都市銀行やNTT、Amazon、Googleのデータセンターが建設されました。世界的にも印西市は知名度が上がっており、さらなる発展が期待できる地域だ

と思います。

豊かな自然も魅力の一つで、家族で近所を散歩すると、出発してすぐに里山や小川がある自然いっぱいの場所に辿り着きます。

私が住む地域は、スーパーなどの商業施設が徒歩圏内にあり、適度に自然が残っている場所です。ふだんの生活では特に不便はありません。しかし、電車賃が高いことやバスの運行が少ないことなどから高齢者でも車がないと暮らしづらいのではないかと心配しています。

市民憲章には「一人ひとりが主役となる元気なまちをつくる」という内容があります。現在は、自然環境保護がクローズアップされ、市民の多様化が進んでいます。積極的に地域の活動に参加し、一人ひとりが活躍できる取組が必要になってきているのではないかと思います。

第4回定例会 会期予定及び日程

第4回定例会は、11月29日(水)から12月19日(火)までの会期予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況などにより、予定が変更となる場合があります。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。



なお、インターネットによる本会議のライブ中継及び委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



日	月	火	水	木	金	土
11/19	11/20	11/21	11/22 議会運営委員会	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25
11/26	11/27	11/28	11/29 本会議 (議案上程)	11/30 本会議 (個人質問)	12/1 本会議 (個人質問)	12/2
12/3	12/4 本会議 (個人質問)	12/5 本会議 (個人質問)	12/6 本会議 (個人質問)	12/7 予算審査 常任委員会	12/8 総務企画 常任委員会	12/9
12/10	12/11 文教福祉 常任委員会	12/12 建設経済 常任委員会	12/13	12/14	12/15	12/16
12/17	12/18 議会運営 委員会 正副委員長会議	12/19 本会議 (議案の採決)	12/20	12/21	12/22	12/23